

～ 唐津市短観 令和8年上半期調査結果 ～

- 現況は「悪い」（現況 DI：▲43）、見通しは「悪くなる」（見通し DI：▲30）
- 現況 DI は前回調査から 26 ポイント悪化しました。6 か月後は 13 ポイントの改善が見込まれるものの、マイナス圏が続き、物価・燃油高騰による経営圧迫も広くみられます。

■調査概要

調査時期： 令和8年7月16日～7月31日
調査方法： インターネットによる回答
調査内容： 前期と比較した今期（令和8年1～6月）の景況感および
今期と比較した次期（令和8年7～12月）の見通し
調査対象： 唐津市内の事業者から抽出した8業種300事業所
回答数： 149事業所（回答率49.7%）
分析： 唐津市

■当期の結果概要

現在の景況感は「良い」4.7%に対し、「悪い」が47.7%となり、現況DIは▲43ポイントとなりました。前回調査と比較すると、26ポイント悪化しています。業種別では、全業種で現況DIが悪化しており、特に卸売・小売業、農業、製造業、飲食業などで厳しい結果となりました。

6か月後の見通しについては、「良くなる」が8.1%、「悪くなる」が38.3%、「変わらない」が53.7%となり、見通しDIは▲30ポイントとなりました。現況DIと比較すると13ポイント改善する見通しですが、引き続き厳しい状況が見込まれます。業種別では、宿泊・観光業で改善が見込まれる一方、飲食業、農業、卸売・小売業などでは厳しい見通しとなっています。

天気マークと指標				
				
特に好調 50 ≤ DI	好調 25 ≤ DI ≤ 50	普通 0 ≤ DI < 25	不調 ▲25 ≤ DI < 0	極めて不調 DI < ▲25

景況天気図

	全業種	農業	建設業	製造業	宿泊・観光業	卸売・小売業	飲食業	旅客運送・運輸業	その他のサービス業
前期 R7.7～R7.12	 ▲17	 0	 ▲16	 ▲15	 22	 ▲38	 ▲6	 0	 ▲26
今期 R8.1～R8.6	 ▲43	 ▲50	 ▲24	 ▲50	 ▲22	 ▲63	 ▲50	 ▲17	 ▲38
来期見通し R8.7～R8.12	 ▲30	 ▲40	 ▲20	 ▲33	 11	 ▲37	 ▲50	 0	 ▲35

■当期の結果詳細

	前年調査	前回調査		現在の景況感				現況	6か月後の見通し				見通し
	現況 DI	現況 DI	見通し DI	回答数 (n=)	良い (%)	悪い (%)	変わらない (%)	DI (%ポイント)	回答数 (n=)	良くなる (%)	悪くなる (%)	変わらない (%)	DI (%ポイント)
総合	▲ 38	▲ 17	▲ 26	149	4.7	47.7	47.7	▲ 43	149	8.1	38.3	53.7	▲ 30
①農業	▲ 40	0	▲ 40	10	0.0	50.0	50.0	▲ 50	10	0.0	40.0	60.0	▲ 40
②建設業	▲ 36	▲ 16	▲ 16	25	12.0	36.0	52.0	▲ 24	25	12.0	32.0	56.0	▲ 20
③製造業	▲ 47	▲ 15	▲ 19	30	6.7	56.7	36.7	▲ 50	30	6.7	40.0	53.3	▲ 33
④宿泊・観光業	▲ 56	22	▲ 44	9	22.2	44.4	33.3	▲ 22	9	33.3	22.2	44.4	11
⑤卸売・小売業	▲ 48	▲ 38	▲ 38	27	0.0	63.0	37.0	▲ 63	27	11.1	48.1	40.7	▲ 37
⑥飲食業	▲ 38	▲ 6	▲ 29	16	0.0	50.0	50.0	▲ 50	16	0.0	50.0	50.0	▲ 50
⑦旅客運送・運輸業	▲ 25	0	▲ 20	6	0.0	16.7	83.3	▲ 17	6	0.0	0.0	100.0	0
⑧その他のサービス業	▲ 14	▲ 26	▲ 22	26	0.0	38.5	61.5	▲ 38	26	3.8	38.5	57.7	▲ 35

■当期の主なコメント

現在の景況感	良い	
	悪い	- 唐津市立中学校で、生徒の学校用品等を佐賀市内の業者から購入している所があります。こちらが佐賀方面に営業に行っても、地場産業育成を名目にほとんど入る事が出来ません。少子化の問題もあるので、もっと地元を大事にして頂きたい。 - 円安がこのままだったり、円安が進むと、物価が上がることは目に見えている電気料金や生活そのもののインフレ、お客さん事態もインフレになってしまうと、来店の頻度（期間が長くなり）今でも長くなっているのに、それ以上に長くなったり、低料金の店舗に流れたりすると、経営自体が心配になってくる
	変わらない	- 物価高、人件費の高騰によるコスト増に将来的な不安を感じる。 - 今年は売上がすこしは上がるかと思っていたが殆ど上がっていない、営業利益は赤字のままである

唐津市短観（唐津市短期経済観測調査）とは？

各企業からの調査結果である「良い」「普通」「悪い」の3通りで回答したものを集計して、DI※で表したもの。DIは「良い」という回答の比率から「悪い」という回答の比率を引いて指数化するため、全調査企業が「良い」と回答すれば100、全ての企業が「悪い」と判断すれば▲100となり、ゼロが景気の拡大縮小の分かれ目の目安となる。

※DI（Diffusion Index）：企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の短観（全国企業短期経済観測調査）などで用いられている。